

製品名: GATA-4 (リン酸化 Ser105) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04727**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	GATA4
別名	GATA4; Transcription factor GATA-4; GATA-binding factor 4
遺伝子 ID	2626.0
SwissProt ID	P43694
免疫原	抗血清は、Ser105 のリン酸化部位周辺のヒト GATA4 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 71-120

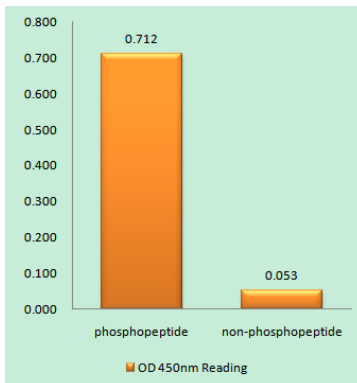
背景

この遺伝子は、ジンクフィンガー転写因子の GATA ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、多く

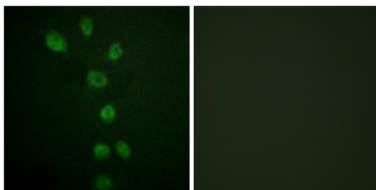
の遺伝子のプロモーターに存在する GATA モチーフを認識します。このタンパク質は、胚発生、心筋の分化と機能に関与する遺伝子を制御し、正常な精巢の発達に必要であると考えられています。この遺伝子の変異は、心中隔欠損症と関連しています。さらに、遺伝子発現の変化は、いくつかの種類 of 癌と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 4 月]、疾患: GATA4 の欠陥は、心房中隔欠損症 2 型 (ASD2) [MIM:607941]の原因です。ASD2 は、心房間の壁が不完全に閉じることで左心房から右心房への血流が生じることを特徴とする先天性心奇形です。ASD2 患者は、心室中隔欠損症、房室中隔欠損症、肺動脈弁肥厚、心臓弁閉鎖不全症などの他の心臓異常を呈する。ASD2 は、心臓伝導系の欠陥や心臓以外の異常とは関連がない。機能: 転写活性化因子。コンセンサス配列 5'-AGATAG-3'に結合し、NKX2-5 と協調して ANF の転写活性化因子として作用する。類似性: 2 つの GATA 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット: ZNF260 と相互作用する (類似性による)。C 末端ジンクフィンガーを介して NKX2-5 のホメオボックスドメインと相互作用する。また、ANF の転写活性化能を抑制する JARID2 とも相互作用する。NFATC4 と相互作用する。

研究分野

画像データ



GATA4 (リン酸化 Ser105) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



GATA4 (リン酸化 Ser105) 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。